



IXIL ガレージシャッタークワトロ(外部付 木造用躯体直付枠) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 取付け前に必ず本説明書をお読みください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

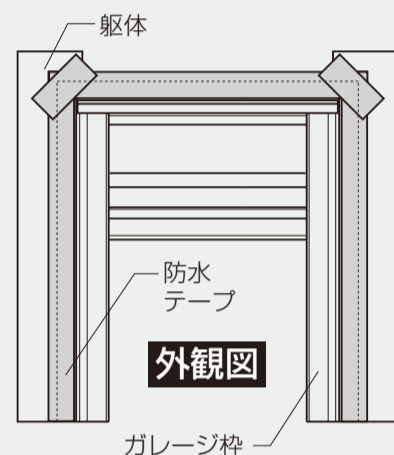
●シャッター本体の外れ・落下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・本製品は木造用です。木造以外のALC造・RC造・鉄骨造の躯体に使用しないでください。
- ・必ず指定のねじを指定の本数使用して取付けてください。

●漏水の原因になることがありますので、下記事項をお守りください。

- ・本製品を取付ける前に、躯体のシャッター取付け部に防水シートが張ってあることを確認してください。
- ・本製品取付け後、ガレージ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびガレージ枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。
- ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・外枠と天板・化粧まぐさのねじ止めは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれ、漏水することがあります。
- ・背板の四周(天板・外枠・化粧まぐさ)およびコーナー部に \odot 防水テープを張って、さらに圧着してください。

〔防水テープ張付け位置〕



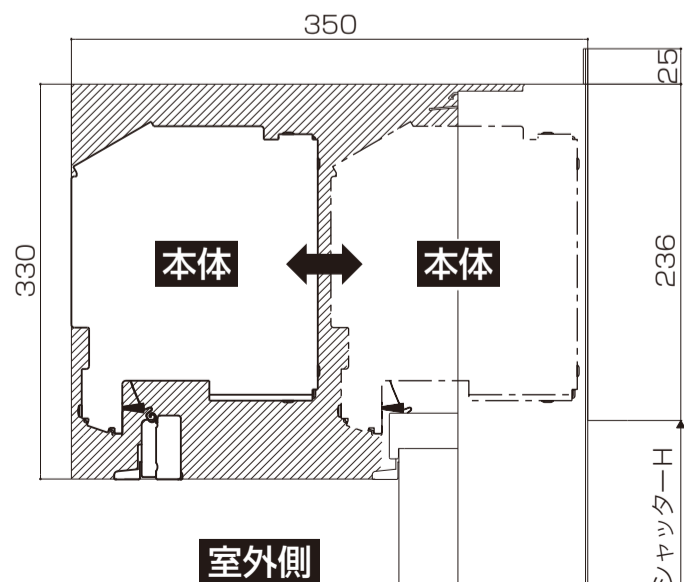
■取付け上のおお願い

- ガレージシャッター取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。
- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。(右図参照)
シャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- 枠の水平・垂直を正確に出してください。
シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。特に埋込タイプの場合にはモルタルの流し込み等の影響で枠の倒れが出ないように、事前によく打ち合わせをしてください。
- モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- シャッター部分の取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

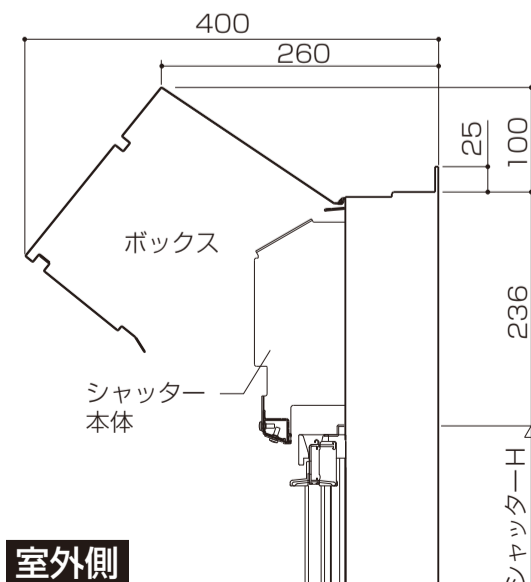


●シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

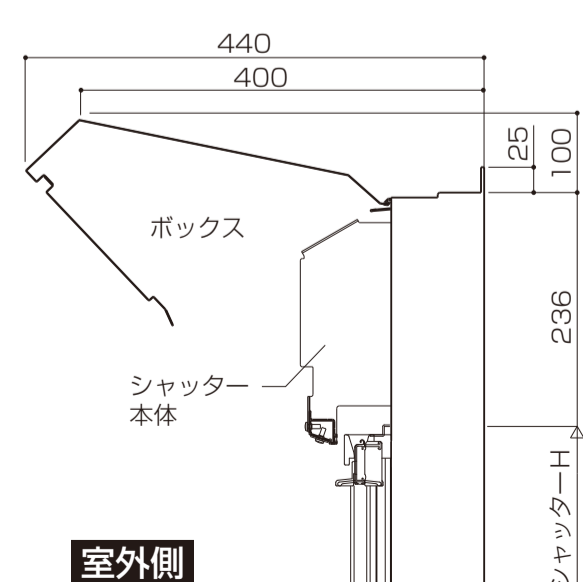
■S型ボックス



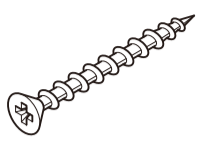
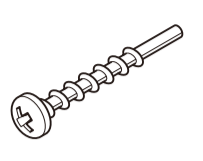
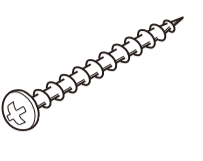
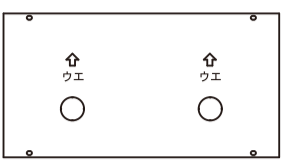

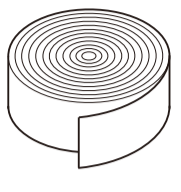
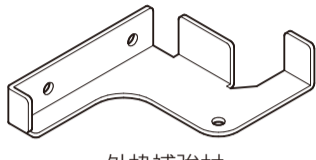

■D型ボックス



■H型ボックス

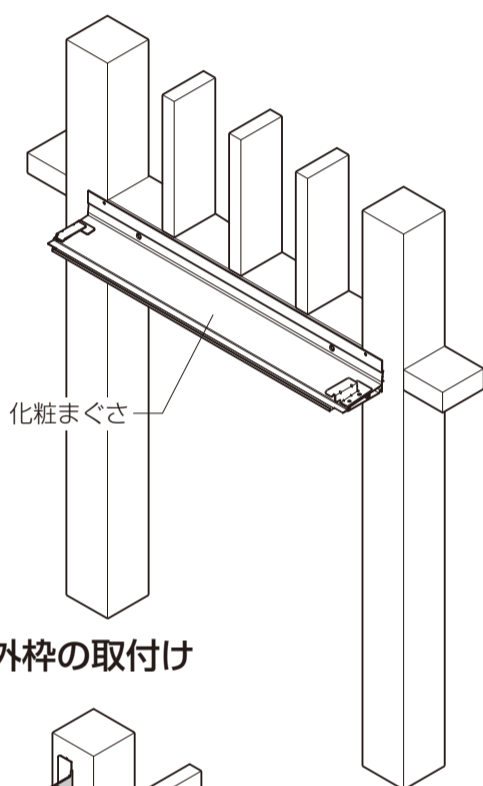


■使用部品・ねじ一覧表

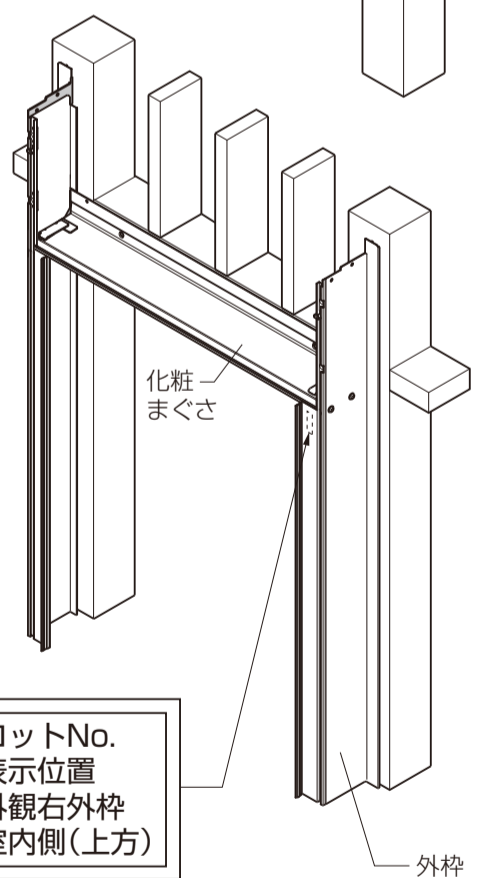
①  皿タッピンねじ φ4×35	㊦  バインドタッピンねじ φ4×30	㊨  コンクリートアンカーねじ φ4×32	㊩  背板	㊮  皿小ねじM4×5	㊰  防水テープ
㊴ (埋込みなしタイプのみ)  外枠補強材		㊵ (埋込みなしタイプのみ)  ナベ小ねじM5×10 (ワッシャー付き)			

■取付け順序

1化粧まぐさの取付け



2外枠の取付け

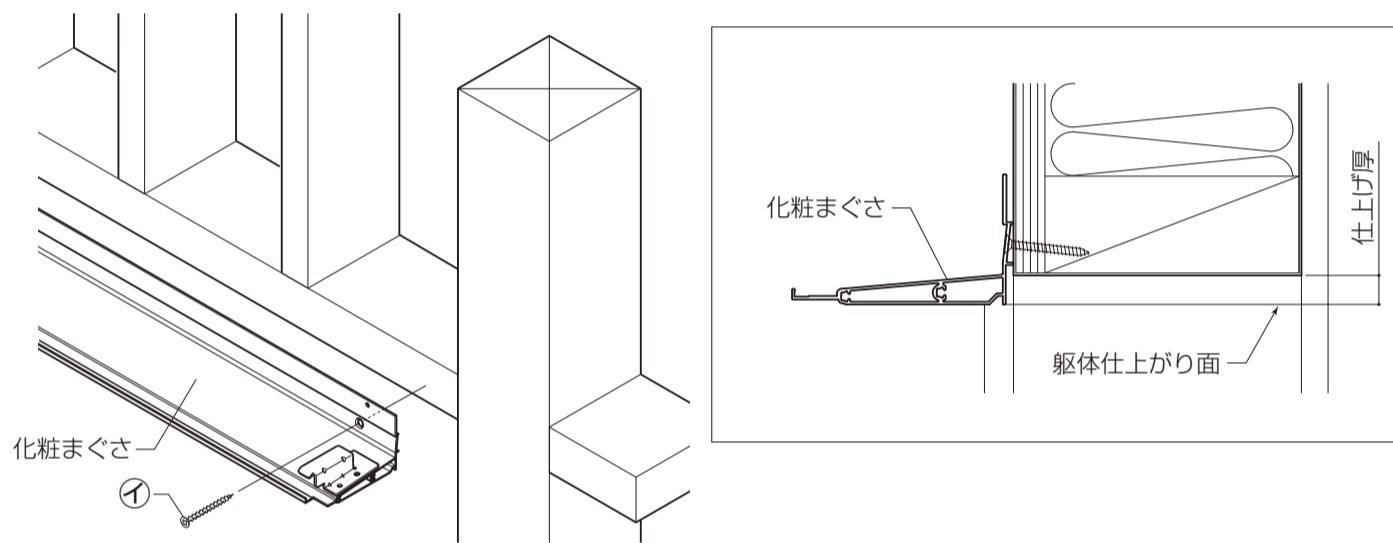


ロットNo.
表示位置
外観右外枠
室内側(上方)

■取付け詳細

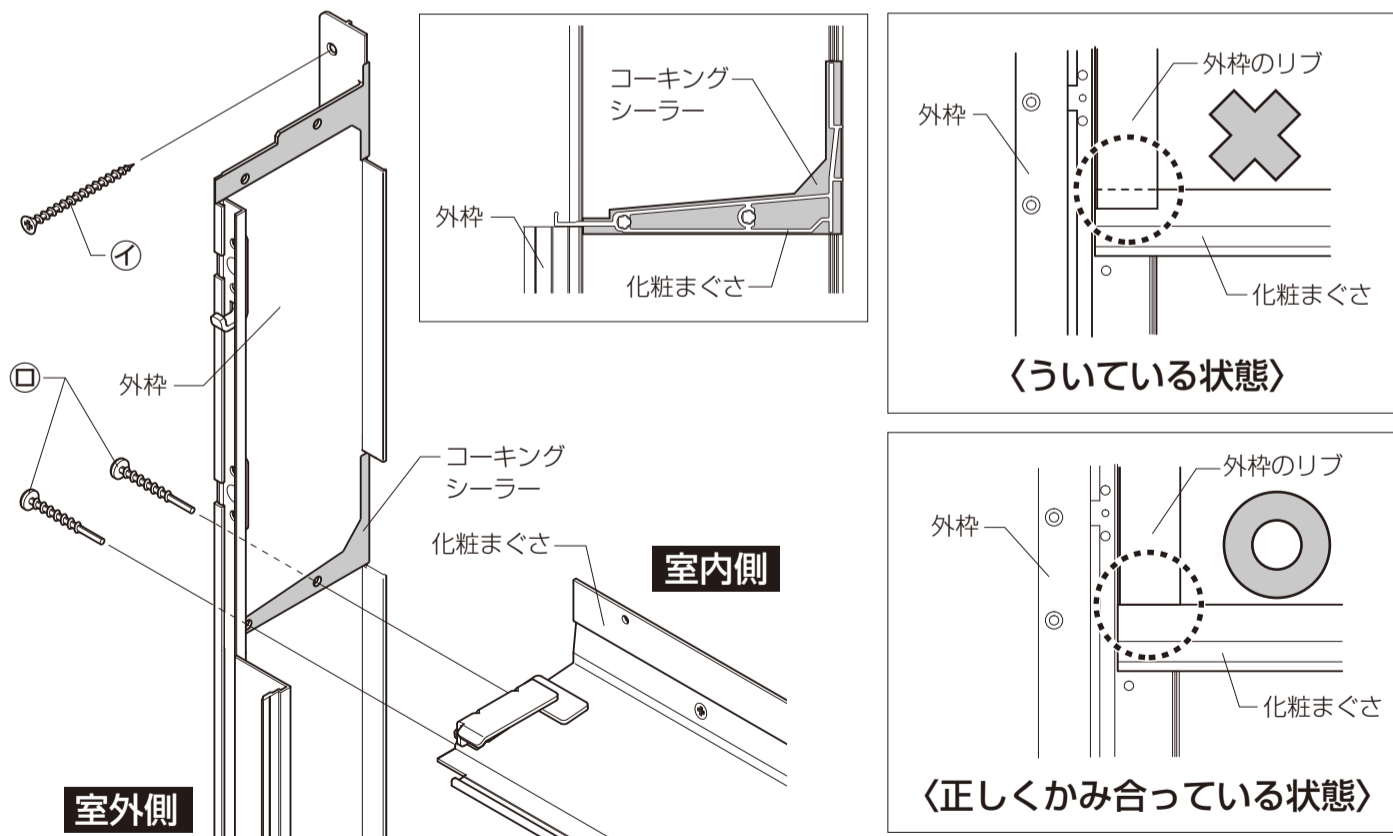
1化粧まぐさの取付け

- 化粧まぐさの下端を躯体仕上がり面に合わせ、躯体からの左右の出寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して躯体に①皿タッピンねじφ4×35でねじ止めします。



2外枠の取付け

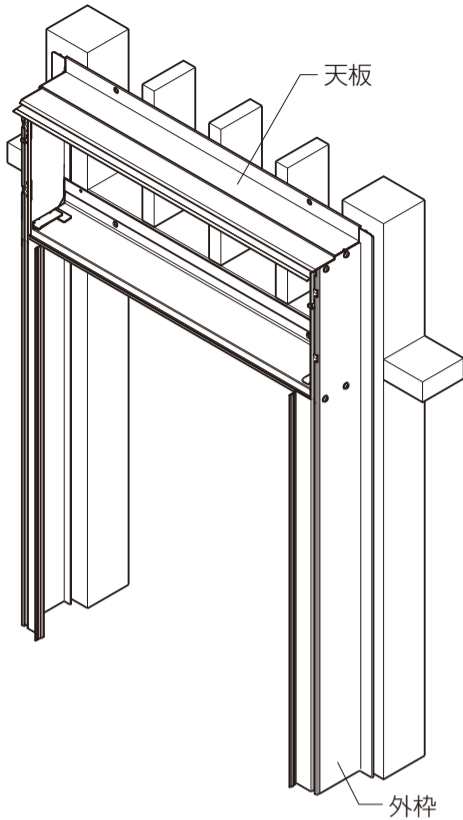
- ①どちらか一方の外枠と化粧まぐさを㊦バインドタッピンねじφ4×30で固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠のリブと化粧まぐさをかみ合わせてください。
- ②外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように①皿タッピンねじφ4×35で固定します。
- ③もう一方の外枠は、仮止めしておきます。



▲注意

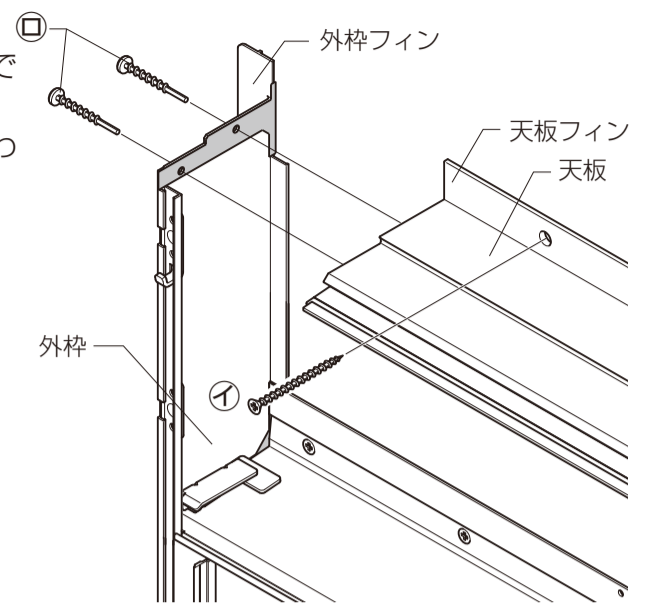
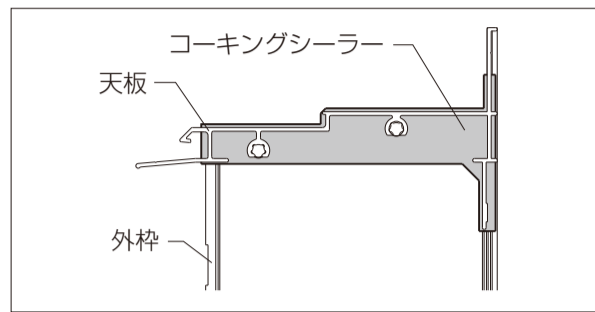
- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になることがあります。
- ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ (25±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になることがあります。

3 天板の取付け



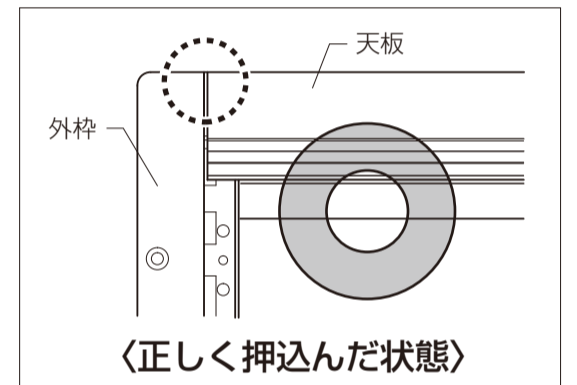
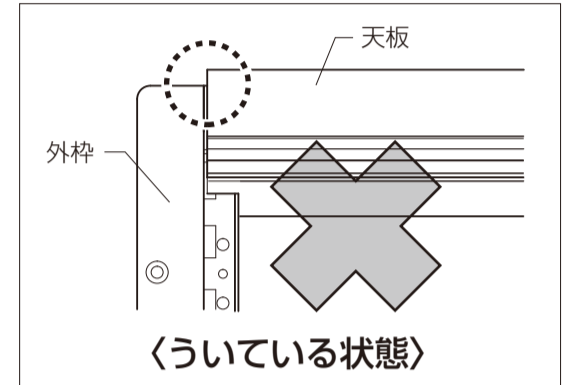
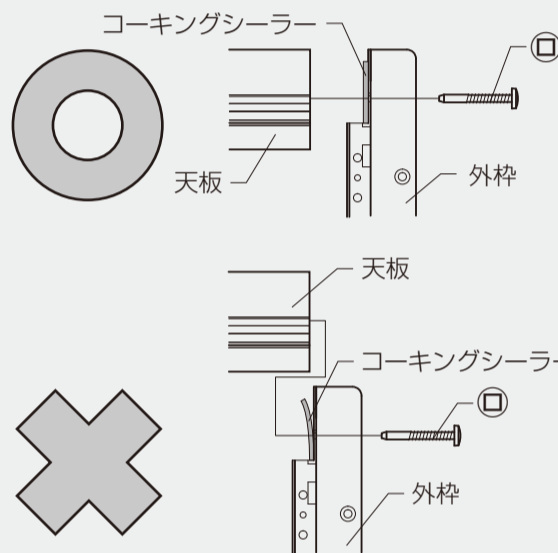
3 天板の取付け

- ①左右の外枠と天板を㊸バインドタッピンねじφ4×30で固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。
- ②仮止めしてある外枠と化粧まぐさを固定します。
- ③天板を㊹皿タッピンねじφ4×35で躯体に固定します。



▲ 注意

- 天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれ、漏水することがあります。

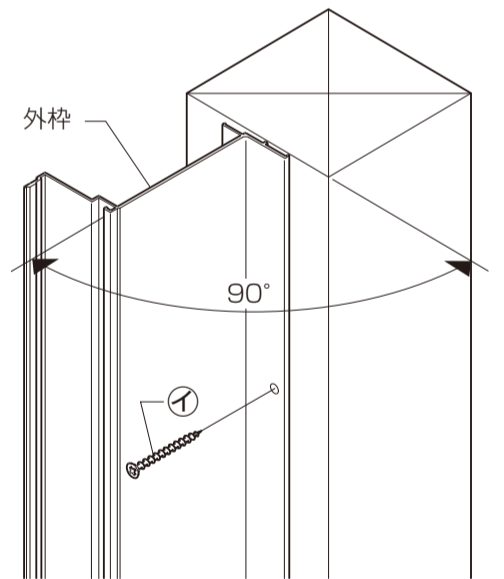
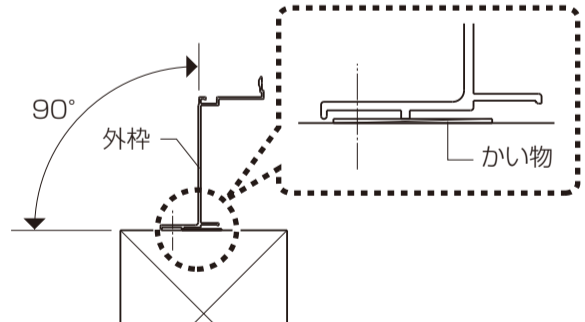


4 外枠・化粧まぐさ・天板の固定

4 外枠・化粧まぐさ・天板の固定

- 固定していない外枠、化粧まぐさ、天板をねじ止めします。
- ※上・中・下部の開口寸法の誤差が±3mm以内であることを確認して調整してください。シャッター作動不良の原因になります。
- ※外枠と化粧まぐさはすき間なく固定してください。シャッター本体が取付けられなくなります。
- ※固定部が基礎にあたる部分は、φ3.4で下穴(深さ35～40mm)をあけ、㊺コンクリートアンカーねじφ4×32で固定してください。

※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるようかい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。



【入隅の場合】

●枠の取付け

- ①外枠と化粧まぐさ、天板を㊸バインドタッピンねじφ4×30でねじ止めします。
- ②化粧まぐさの下端を躯体仕上がり面に合わせ、躯体からの左右の出寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して躯体に㊹皿タッピンねじφ4×35でねじ止めします。
- ③外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように㊹皿タッピンねじφ4×35でねじ止めします。
- ④固定していない外枠、化粧まぐさ、天板を㊹皿タッピンねじφ4×35でねじ止めします。
- ※上・中・下部の開口寸法の誤差が±3mm以内であることを確認して調整してください。シャッター動作不良の原因になります。

